

「ぐんま・県土整備プラン2020」の指標の進捗状況（令和2年度末時点）

資料1

- 指標の令和2年度末の目標値に対する進捗状況については、44指標中40指標が達成若しくは前進となった。（1指標は未確認）
- 新型コロナウイルス感染症等の影響で遅延となった3指標についても、大幅に遅れが生じている状況ではないことから、令和3年度以降、これらの指標の計画的な進捗に向けて、しっかりと取り組んで参りたい。

1. 指標進捗の評価区分について

動向の区分	説明
達成 ◎	令和2年度末時点の目標値を達成し、順調に進捗している指標
前進 ○	令和2年度末時点の目標値を概ね達成している指標
遅延 ▲	令和2年度末時点の目標値に対して、10%以上の遅れが生じている指標

2. 指標の進捗状況について

達成 ◎		前進 ○		遅延 ▲		未確認 -		合計	
項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合	項目数	割合
32	72.7%	8	18.2%	3	6.8%	1	2.3%	44	100.0%

3. 各指標の進捗状況（全44指標）

番号	指標	初期値	現状値 (最新値)	左記の 目標値	評価	目標値	備考
政策1 災害レジリエンスNo.1の実現							
施策1 緊急水害アクション（3か年緊急レジリエンス戦略）							
1	令和元年東日本台風で越水・溢水が生じた河川の堤防嵩上げの整備率	0% (R元年度末)	23% (R2年度末)	23% (R2年度末)	◎	100% (R4年度末)	
施策2 重点水害アクション（5か年重点レジリエンス戦略）							
2	甚大な被害が想定される利根川ほか5河川（5区間）の河川改修等の整備率	0% (R元年度末)	0% (R2年度末)	0% (R2年度末)	◎	100% (R6年度末)	
3	危機管理型水位計の整備率（県内全対象河川・339河川）	41% (R元年度末)	61% (R2年度末)	60% (R2年度末)	◎	100% (R6年度末)	
4	河川監視カメラの整備率（県内全対象河川・339河川）	11% (R元年度末)	14% (R2年度末)	14% (R2年度末)	◎	100% (R6年度末)	
施策3 防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）							
5	河川整備計画に基づく河川整備延長	39.4Km (R元年度末)	41.6Km (R2年度末)	41.6Km (R2年度末)	◎	62.7Km (R11年度末)	
6	土砂災害対策推進計画に基づく重点対策箇所の整備率	2% (R元年度末)	5% (R2年度末)	5% (R2年度末)	◎	100% (R11年度末)	
7	災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの整備率	83% (R元年度末)	83% (R2年度末)	83% (R2年度末)	◎	94% (R11年度末)	
8	緊急輸送道路における落石等対策の進捗率	77% (R元年度末)	82% (R2年度末)	82% (R2年度末)	◎	100% (R11年度末)	
9	水害リスクが軽減される人家戸数	8,819戸 (R元年度末)	8,819戸 (R2年度末)	8,819戸 (R2年度末)	◎	35,400戸 (R11年度末)	
10	水害リスクが軽減される産業団地数	1団地 (R元年度末)	1団地 (R2年度末)	1団地 (R2年度末)	◎	11団地 (R11年度末)	
11	土砂災害リスクが軽減される人家戸数	約18,000戸 (R元年度末)	18,172戸 (R2年度末)	18,557戸 (R2年度末)	○	約21,600戸 (R11年度末)	
12	土砂災害リスクが軽減される要配慮者利用施設数	71施設 (R元年度末)	75施設 (R2年度末)	79施設 (R2年度末)	○	116施設 (R6年度末)	
13	土砂災害リスクが軽減される避難所数	71施設 (R元年度末)	74施設 (R2年度末)	78施設 (R2年度末)	○	135施設 (R6年度末)	
14	防災・物流拠点集積エリア間の道路ネットワークの強靱化率	80% (R元年度末)	80% (R2年度末)	80% (R2年度末)	◎	100% (R11年度末)	
施策4 避難のサポート（中長期レジリエンス戦略）							
15	水害に係る要配慮者利用施設の避難確保計画策定の進捗率	67% (R元年度末)	80% (R2年度末)	85% (R2年度末)	○	100% (R3年度末)	
16	水害に係るマイ・タイムライン作成支援の進捗率	0% (R元年度末)	1% (R2年度末)	3% (R2年度末)	▲	100% (R11年度末)	
17	土砂災害警戒区域等の見直しの進捗率	2巡目	38% (R元年度末)	91% (R2年度末)	◎	100% (R3年度末)	
		3巡目	0% (R2年度末)	0% (R2年度末)		0% (R2年度末)	
18	土砂災害に係る要配慮者利用施設の避難確保計画策定の進捗率	62% (R元年度末)	91% (R2年度末)	80% (R2年度末)	◎	100% (R3年度末)	
19	水害により人的被害が発生した要配慮者利用施設数	0施設 (R元年度)	0施設 (R2年度末)	0施設 (R2年度末)	◎	0施設 (R11年度)	
20	土砂災害による死者数	4人 (R元年度)	0人 (R2年度末)	0人 (R2年度末)	◎	0人 (R11年度)	
政策2 持続可能で効率的なメンテナンス							
施策1 予防保全に基づく長寿命化							
21	長寿命化計画に基づく横断歩道橋補修の進捗率	0% (R元年度末)	37% (R2年度末)	18% (R2年度末)	◎	100% (R6年度末)	
22	長寿命化計画に基づくトンネル補修の進捗率	0% (R元年度末)	50% (R2年度末)	21% (R2年度末)	◎	100% (R6年度末)	

番号	指標	初期値	現状値 (最新値)	左記の 目標値	評価	目標値	備考
23	長寿命化計画に基づく舗装補修の進捗率	0% (R元年度末)	30% (R2年度末)	21% (R2年度末)	◎	100% (R6年度末)	
24	長寿命化計画に基づく道路橋補修の進捗率	0% (R元年度末)	32% (R2年度末)	32% (R2年度末)	◎	100% (R6年度末)	
25	長寿命化計画に基づく河川構造物補修の進捗率	0% (R元年度末)	49% (R2年度末)	49% (R2年度末)	◎	100% (R6年度末)	
26	長寿命化計画に基づく砂防関係施設補修の進捗率	0% (R元年度末)	19% (R2年度末)	23% (R2年度末)	▲	100% (R6年度末)	
27	長寿命化計画に基づく都市公園（遊具・建築物）補修の進捗率	0% (R元年度末)	25% (R2年度末)	25% (R2年度末)	◎	100% (R6年度末)	
28	長寿命化計画に基づく下水道施設補修の進捗率	0% (R元年度末)	0% (R2年度末)	0% (R2年度末)	◎	100% (R6年度末)	
29	長寿命化計画に基づく県営住宅補修の進捗率	0% (R元年度末)	20% (R2年度末)	18% (R2年度末)	◎	100% (R6年度末)	
政策3 多様な移動手段の確保							
施策1 公共交通網の整備・維持							
30	公共交通（鉄道・乗合バス）の利用者数	6,308万人 (H30年度)	6,282万人 (R元年度)	6,308万人の維持 (R元年度)	○	6,308万人の維持 (R11年度)	政策5施策3に再掲
施策2 自動車交通網の整備							
31	高速交通網を補完する広域道路ネットワークの整備率	84% (R元年度末)	86% (R2年度末)	86% (R2年度末)	◎	96% (R11年度末)	
32	主要渋滞箇所の対策率	29% (R元年度末)	33% (R2年度末)	33% (R2年度末)	◎	49% (R11年度末)	
33	インターチェンジから15分圏域の県人口カバー率	76% (R元年度末)	76% (R2年度末)	76% (R2年度末)	◎	80% (R11年度末)	
施策3 歩行者・自転車の安全な移動空間の整備							
34	通学路の歩道整備率	85% (R元年度末)	86% (R2年度末)	86% (R2年度末)	◎	100% (R11年度末)	
35	中高生の通学経路における自転車通行空間の整備率	13% (R元年度末)	57% (R2年度末)	24% (R2年度末)	◎	100% (R11年度末)	
36	高校生の自転車用ヘルメットの着用率	7% (H30年度)	6% (R2年度)	10% (R2年度)	▲	100% (R11年度)	
37	交通人身事事故発生件数（令和元年の件数に対する減少率）	11,831件 (R元年)	22%減 (R2年)	5%減 (R2年)	◎	50%以上減 (R11年)	
政策4 住み続けられるまちづくり							
施策1 適正な土地利用によるまちのまとまりの維持							
38	立地適正化計画策定市町村数	9市町村 (R元年度末)	11市町村 (R2年度末)	10市町村 (R2年度末)	◎	18市町村 (R11年度末)	
39	市街化区域内人口密度	68.1人/ha (R元年度末)	67.7人/ha (R2年度末)	60人/ha以上の維持 (R2年度末)	◎	60人/ha以上の維持 (R11年度末)	
施策2 良好なまち並みと快適な住まいづくり							
40	土地区画整理完了率	82% (R元年度末)	83% (R2年度末)	83% (R2年度末)	◎	91% (R11年度末)	
41	住宅の耐震化率	87% (R元年度末)	87% (R2年度末)	88% (R2年度末)	○	95% (R7年度末)	
42	耐震診断義務付け対象建築物の耐震化率	62% (R元年度末)	62% (R2年度末)	67% (R2年度末)	○	95% (R7年度末)	
政策5 美しく良好な環境の保全							
施策2 健全な水循環の維持・回復							
43	汚水処理人口普及率	81.8% (R元年度末)	82.6% (R2年度末)	82.8% (R2年度末)	○	91.7% (R9年度末)	
44	公共用水域環境基準値達成率（河川：BOD※75%値）	85% (R元年度末)	- (R2年度末)	85% (R2年度末)	-	90% (R11年度末)	

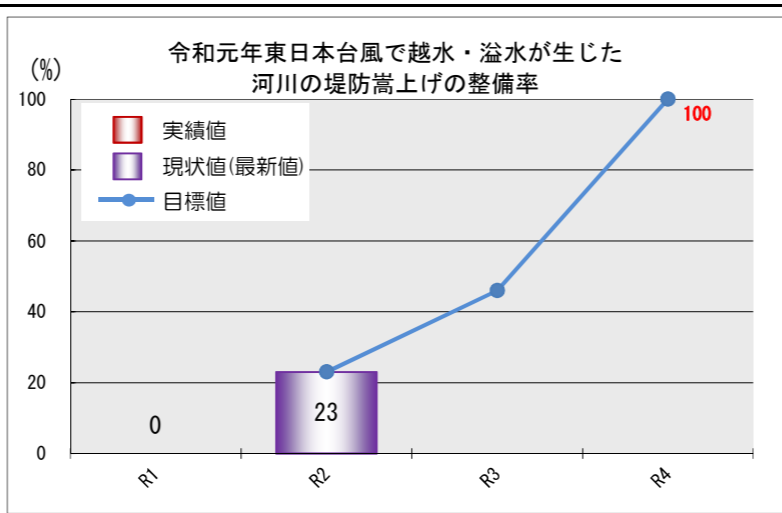
指標 1 令和元年東日本台風で越水・溢水が生じた河川の堤防嵩上げの整備率

●現在の状況及び課題
令和元年東日本台風により越水・溢水が生じた13箇所の堤防嵩上げを推進しており、令和2年度は、石田川など3箇所・延長160mの整備が完了したことから、指標の進捗は順調に推移している。(現状値：23%/目標値：23%)

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等の制度等を積極的に活用し、越水・溢水が生じた河川の堤防嵩上げの整備を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	23				
	R7	R8	R9	R10	R11



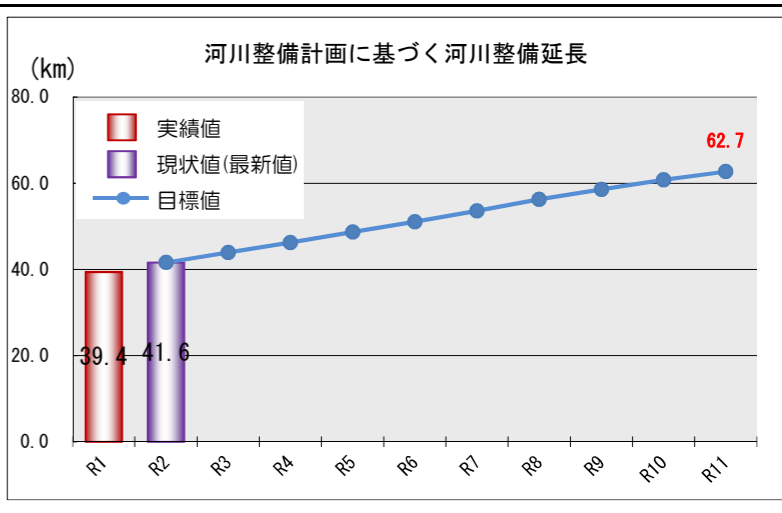
指標 5 河川整備計画に基づく河川整備延長

●現在の状況及び課題
河川整備計画に基づく、河道拡幅や堤防整備、調節池整備を推進しており、令和2年度は、井野川等で河川改修を推進し、延長2.2kmの整備が完了したことから、指標の進捗は順調に推移している。(現状値：41.6km/目標値：41.6km)

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等の制度等を積極的に活用し、河川改修を重点的に推進し、浸水被害の防止・最小化に努める。

●指標における実績値の推移 [単位：km]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
39.4	41.6				
	R7	R8	R9	R10	R11



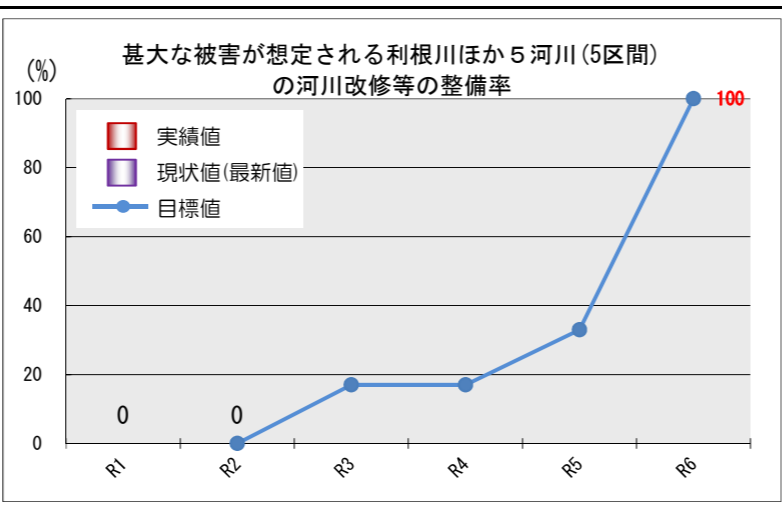
指標 2 甚大な被害が想定される利根川ほか5河川(5区間)の河川改修等の整備率

●現在の状況及び課題
甚大な被害が想定される地域において、河川整備計画に基づく、河道拡幅や堤防整備、調節池整備を推進しており、令和2年度は、大川等で延長0.2kmの整備が完了したが、一連区間の整備が完了しないと浸水が想定されるエリアの減少につながらないため、指標の進捗は現状維持となっている。(現状値：0%/目標値：0%)

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等の制度等を積極的に活用し、甚大な被害が想定される河川の河川改修等を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	0				
	R7	R8	R9	R10	R11



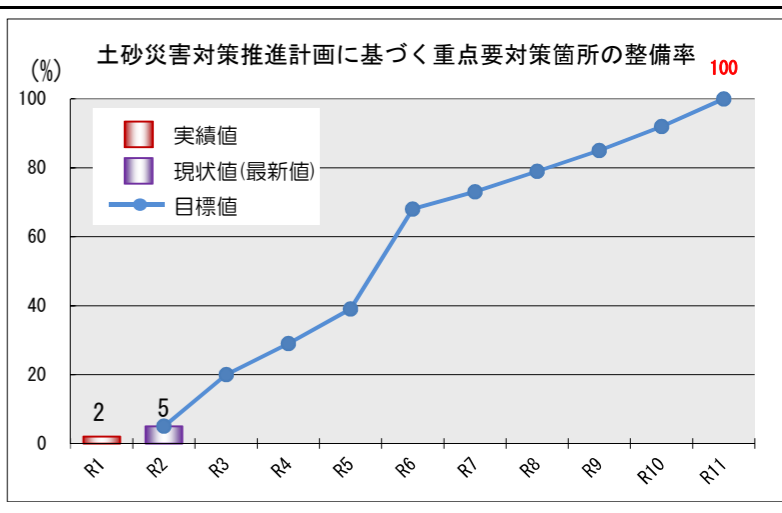
指標 6 土砂災害対策推進計画に基づく重点要対策箇所の整備率

●現在の状況及び課題
優先度Ⅰ～Ⅲの要対策箇所は概ね事業着手し、優先的に整備を進めていることから、指標の進捗は順調に推移している。(現状値：5%/目標値：5%)

●今後の取り組み予定
「土砂災害対策推進計画2021」に基づき、優先度Ⅰ～Ⅲの要対策箇所と土砂災害特別警戒区域に人家が存在する箇所の整備を計画的に推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
2	5				
	R7	R8	R9	R10	R11



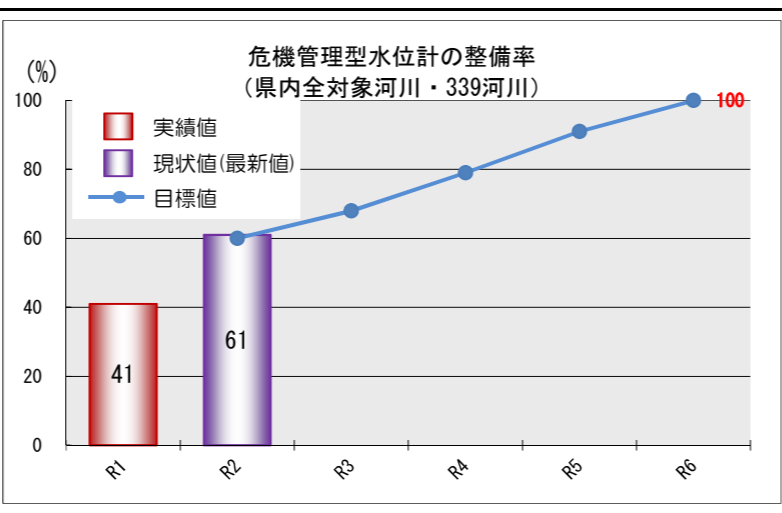
指標 3 危機管理型水位計の整備率(県内全対象河川・339河川)

●現在の状況及び課題
住民が「自ら逃げる」という主体的行動がとれるよう、危機管理型水位計の整備を拡充しており、令和2年度までに208河川の整備が完了したことから、指標の進捗は順調に推移している。(現状値：61%/目標値：60%)

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等の制度等を積極的に活用し、危機管理型水位計の整備を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
41	61				
	R7	R8	R9	R10	R11



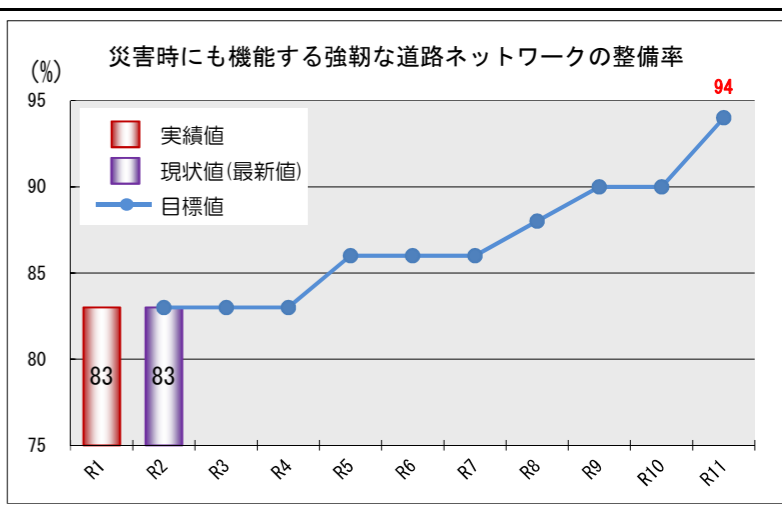
指標 7 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの整備率

●現在の状況及び課題
令和2年度は、西毛広域幹線道路(安中工区)1.9kmや南新井前橋線(3期工区)0.9kmが開通したため、指標の進捗は順調に推移している。(現状値：83%/目標値：83%)

●今後の取り組み予定
今後も県土整備プランに基づき、計画的に災害時にも機能する強靱な道路ネットワークに位置付けられる道路の整備を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
83	83				
	R7	R8	R9	R10	R11



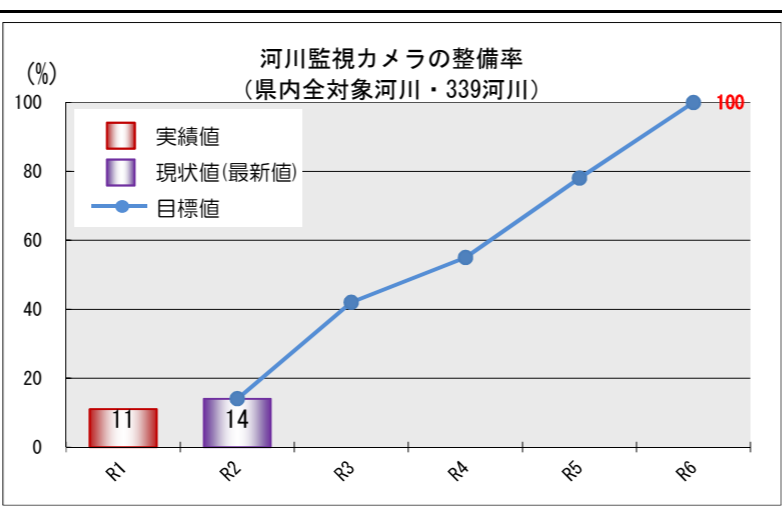
指標 4 河川監視カメラの整備率(県内全対象河川・339河川)

●現在の状況及び課題
住民が「自ら逃げる」という主体的行動がとれるよう、河川監視カメラの整備を拡充しており、令和2年度までに47河川の整備が完了したことから、指標の進捗は順調に推移している。(現状値：14%/目標値：14%)

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等の制度等を積極的に活用し、河川監視カメラの整備を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
11	14				
	R7	R8	R9	R10	R11



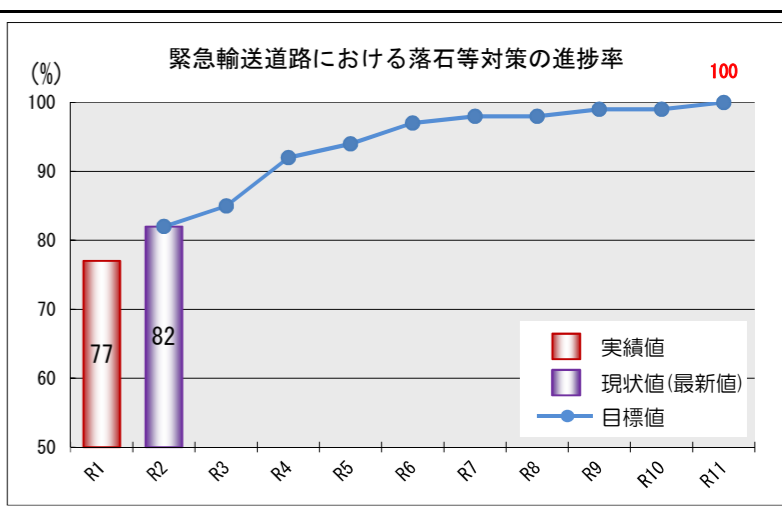
指標 8 緊急輸送道路における落石等対策の進捗率

●現在の状況及び課題
緊急輸送道路にある「要対策箇所」564箇所の法面対策工事を重点的に推進し、対策済箇所は463箇所となり、指標の進捗は順調に推移している。(現状値82%/目標値82%)

●今後の取り組み予定
緊急輸送道路が落石等により寸断しないよう、計画的に危険箇所の解消に取り組む。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
77	82				
	R7	R8	R9	R10	R11



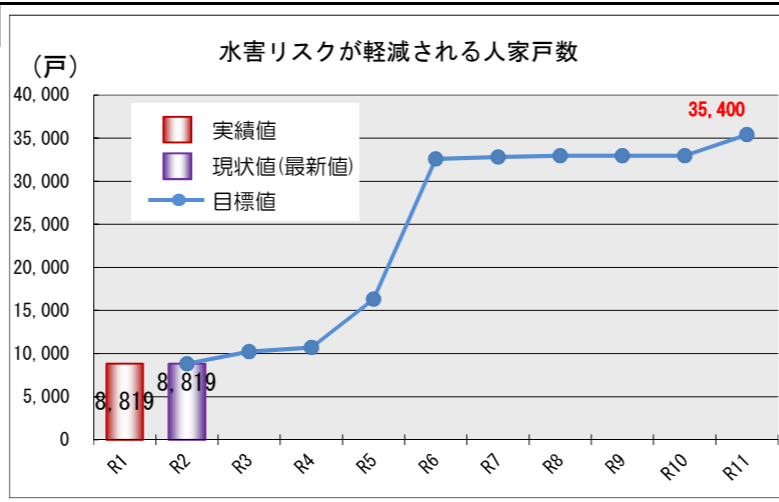
指標 9 水害リスクが軽減される人家戸数

●現在の状況及び課題
令和2年度は、井野川等で河川改修を推進し、延長2.2kmの整備が完了したが、一連区間の整備が完了しないと浸水が想定されるエリアの減少につながらないため、指標の進捗は現状維持となっている。
(現状値：8,819戸／目標値：8,819戸)

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等の制度等を積極的に活用し、河川改修を重点的に推進し、浸水被害の防止・最小化に努める。

●指標における実績値の推移 [単位：戸]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
8,819	8,819				
	R7	R8	R9	R10	R11



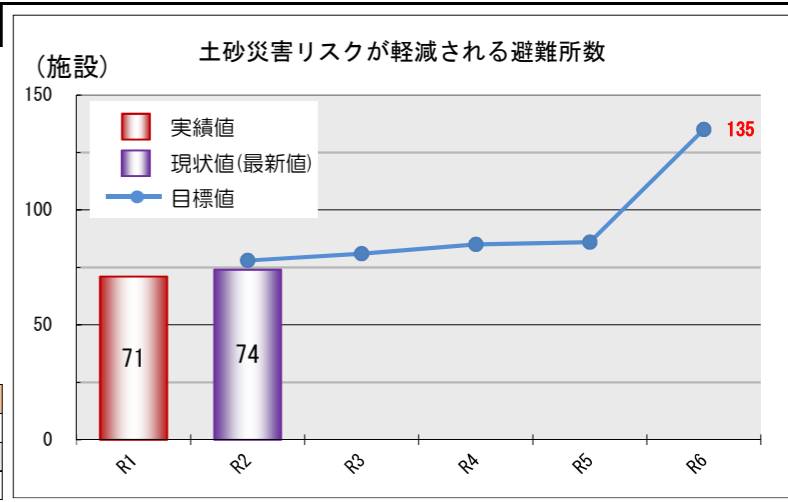
指標 13 土砂災害リスクが軽減される避難所数

●現在の状況及び課題
土砂災害対策推進計画2021に基づき、土砂災害警戒区域等に要配慮者利用施設・避難所や人家が多く存在する箇所などで優先的に砂防施設の整備を行っている。一部事業で当初想定との基礎地盤の相違による対策の検討等に時間を要したことなどから工事完成が遅れたため、指標進捗についてもやや遅れが生じている。
(現状値：74施設／目標値：78施設)

●今後の取り組み予定
遅延事業の早期完成を図ることや、国の5か年加速化対策予算を活用するなど、計画的な進捗に努めていく。

●指標における実績値の推移 [単位：施設]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
71	74				
	R7	R8	R9	R10	R11



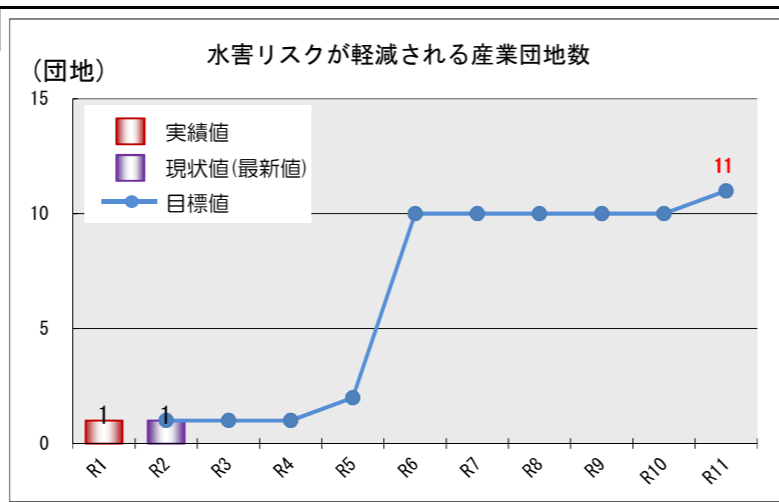
指標 10 水害リスクが軽減される産業団地数

●現在の状況及び課題
令和2年度は、井野川等で河川改修を推進し、延長2.2kmの整備が完了したが、一連区間の整備が完了しないと浸水が想定されるエリアの減少につながらないため、指標の進捗は現状維持となっている。
(現状値：1団地／目標値：1団地)

●今後の取り組み予定
国が進める「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等の制度等を積極的に活用し、河川改修を重点的に推進し、浸水被害の防止・最小化に努める。

●指標における実績値の推移 [単位：団地]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
1	1				
	R7	R8	R9	R10	R11



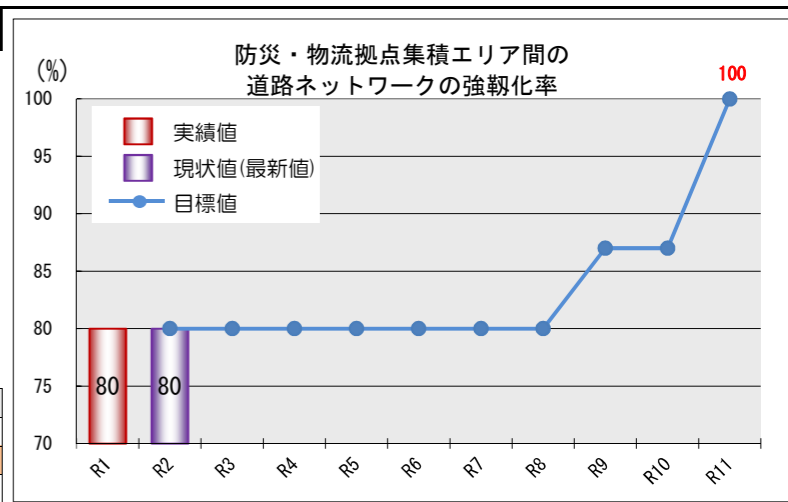
指標 14 防災・物流拠点集積エリア間の道路ネットワークの強靱化率

●現在の状況及び課題
上信自動車道や西毛広域幹線道路等の防災・物流拠点集積エリア間の道路ネットワークの安全性が向上する道路の整備を推進しており、指標の進捗は順調に推移している。
(現状値：80% / 目標値：80%)

●今後の取り組み予定
今後も県土整備プランに基づき、計画的に防災・物流拠点集積エリアを結ぶ道路ネットワークに位置付けられる道路の整備を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
80	80				
	R7	R8	R9	R10	R11



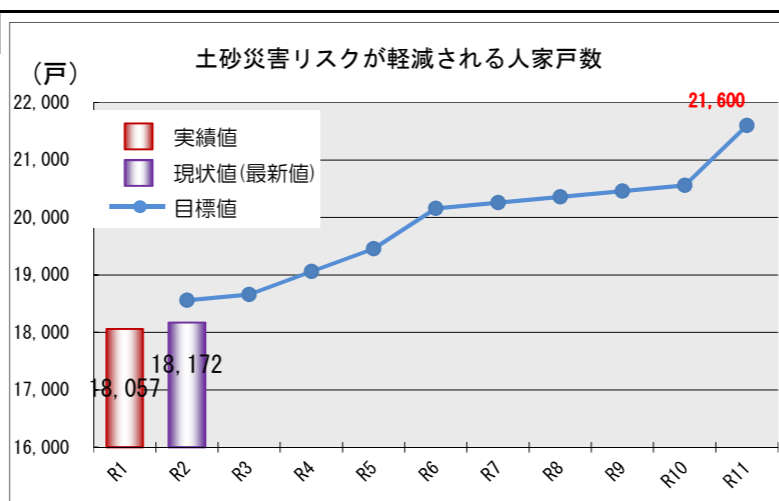
指標 11 土砂災害リスクが軽減される人家戸数

●現在の状況及び課題
土砂災害対策推進計画2021に基づき、土砂災害警戒区域等に要配慮者利用施設・避難所や人家が多く存在する箇所などで優先的に砂防施設の整備を行っている。一部事業で当初想定との基礎地盤の相違による対策の検討等に時間を要したことなどから工事完成が遅れたため、指標進捗についてもやや遅れが生じている。
(現状値：18,172戸／目標値：18,557戸)

●今後の取り組み予定
遅延事業の早期完成を図ることや、国の5か年加速化対策予算を活用するなど、計画的な進捗に努めていく。

●指標における実績値の推移 [単位：戸]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
18,057	18,172				
	R7	R8	R9	R10	R11



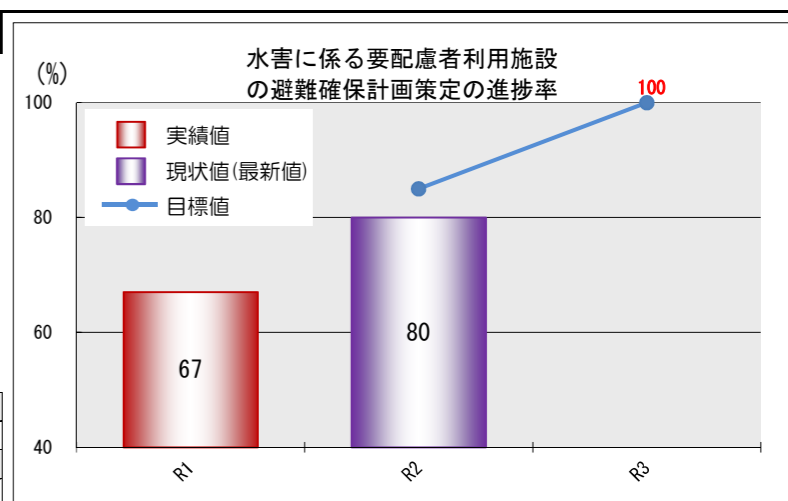
指標 15 水害に係る要配慮者利用施設の避難確保計画策定の進捗率

●現在の状況及び課題
地域防災計画に位置付けられている要配慮者利用施設における避難確保計画の策定を県と市町村で支援している。新型コロナウイルス感染症の影響で説明会等の開催が難しく、施設への説明・支援を個別で行っているため、指標の進捗が遅れが生じている。
(現状値：80% / 目標値：85%)

●今後の取り組み予定
河川氾濫に関する群馬県減災対策協議会の地域部会において、県と市町村で情報共有するなど、目標達成に向けて、県として必要な支援を行っていく。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
67	80				
	R7	R8	R9	R10	R11



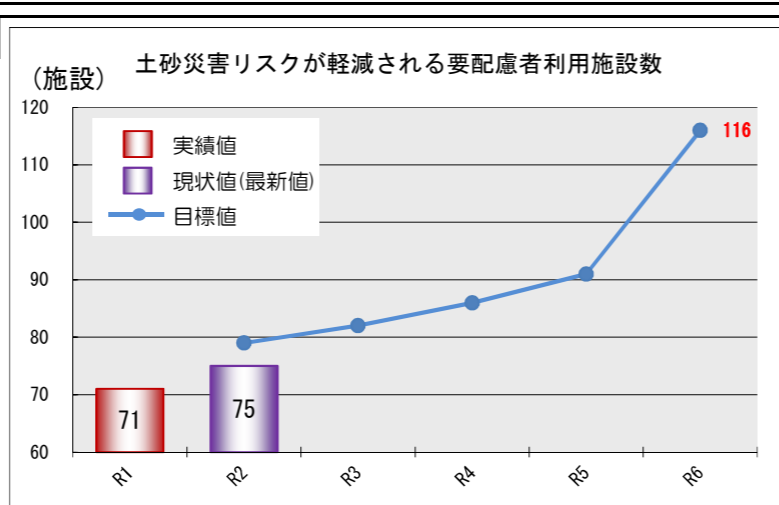
指標 12 土砂災害リスクが軽減される要配慮者利用施設数

●現在の状況及び課題
土砂災害対策推進計画2021に基づき、土砂災害警戒区域等に要配慮者利用施設・避難所や人家が多く存在する箇所などで優先的に砂防施設の整備を行っている。一部事業で令和元年東日本台風による災害復旧工事の影響等で工事完成が遅れたため、指標進捗についてもやや遅れが生じている。
(現状値：75施設／目標値：79施設)

●今後の取り組み予定
遅延事業の早期完成を図ることや、国の5か年加速化対策予算を活用するなど、計画的な進捗に努めていく。

●指標における実績値の推移 [単位：施設]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
71	75				
	R7	R8	R9	R10	R11



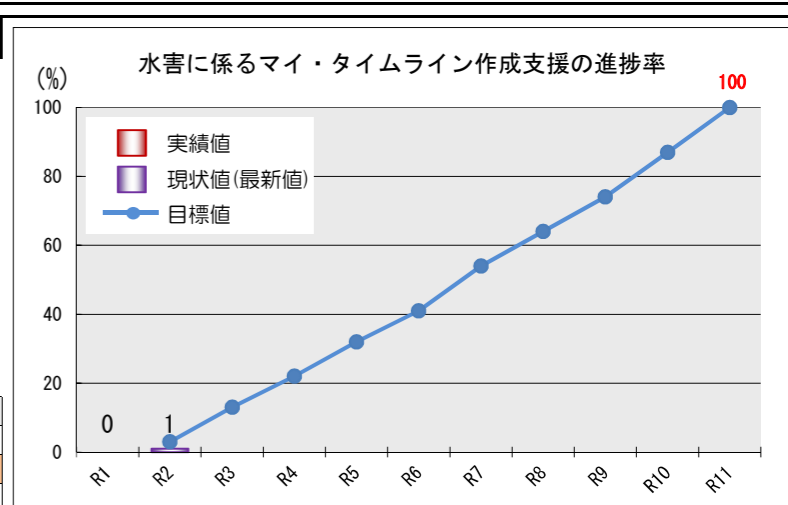
指標 16 水害に係るマイ・タイムライン作成支援の進捗率

●現在の状況及び課題
モデル地区として予定していた説明会が新型コロナウイルス感染症拡大防止対策や警戒度により、開催が出来ない状況があった。またweb開催も地区単位での開催であるため、対応が難しく、指標の進捗が遅れが生じている。
(現状値：1% / 目標値：3%)

●今後の取り組み予定
モデル地区の開催を行い、市町村担当者に支援方法を確認してもらうことで作成支援の拡大を図る。また定期的に進捗確認を行い、必要に応じて、地域部会毎に支援対策を行う。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	1				
	R7	R8	R9	R10	R11



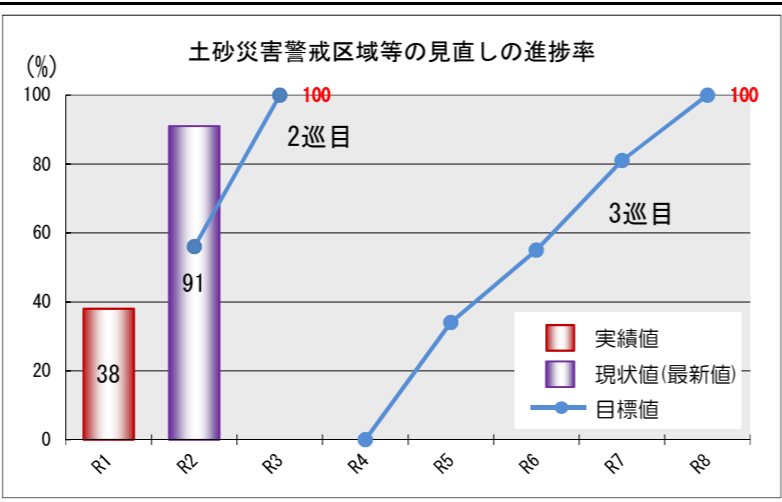
指標 17 土砂災害警戒区域等の見直しの進捗率

●現在の状況及び課題
2巡目の土砂災害警戒区域等の見直し（砂防基礎調査）については、R2年度末において、対象の27市町村のうち26市町村で完了しており、指標の進捗は順調に推移している。（現状値：91%/目標値：56%）

●今後の取り組み予定
令和3年度から3巡目の見直しを実施しており、令和8年度までに土砂災害警戒区域等の更新や確実な指定・公表を行う。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
38	91				
	R7	R8	R9	R10	R11



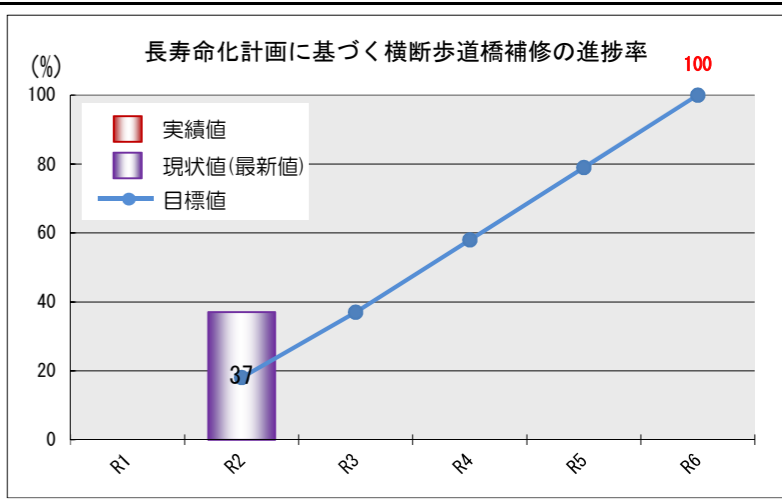
指標 21 長寿命化計画に基づく横断歩道橋補修の進捗率

●現在の状況及び課題
「群馬県道路施設長寿命化計画」に基づき、計画的な横断歩道橋の補修を実施しており、令和2年度は、14箇所完了し、指標の進捗は順調に推移している。（現状値：37%/目標値：18%）

●今後の取り組み予定
令和3年度は11箇所補修工事を実施予定である。引き続き、横断歩道橋を長期にわたって安全に使用し続けるために、計画的な点検・維持管理・更新を実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	37				
	R7	R8	R9	R10	R11



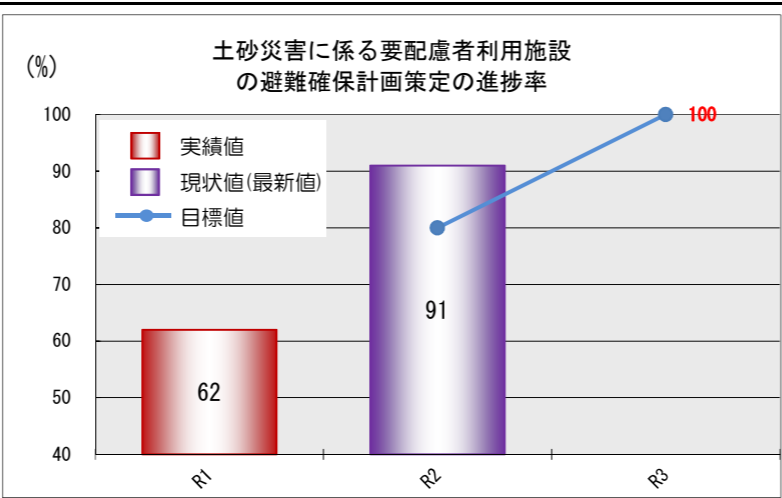
指標 18 土砂災害に係る要配慮者利用施設の避難確保計画策定の進捗率

●現在の状況及び課題
各市町村へ避難確保計画作成について指導し、要配慮者利用施設において避難確保計画の策定支援や避難訓練支援を実施しており、指標の進捗は順調である。（現状値：91%/目標値：80%）

●今後の取り組み予定
引き続き避難確保計画の策定支援や避難訓練支援を継続し、本年度中に避難確保計画の策定率を100%とする。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
62	91				
	R7	R8	R9	R10	R11



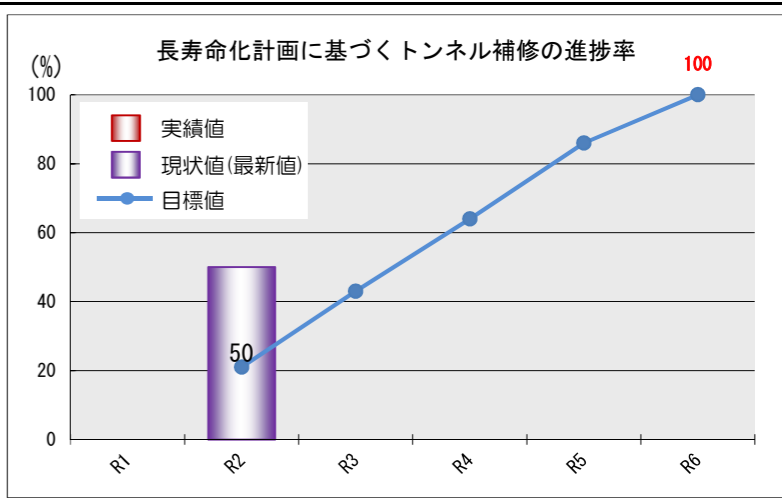
指標 22 長寿命化計画に基づくトンネル補修の進捗率

●現在の状況及び課題
「群馬県道路施設長寿命化計画」に基づき、計画的なトンネルの補修を実施しており、令和2年度は、7箇所完了し、指標の進捗は順調に推移している。（現状値50%/目標値：21%）

●今後の取り組み予定
令和3年度は、トンネル定期点検を実施し長期にわたって安全に使用し続けるために、計画的な維持管理を実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	50				
	R7	R8	R9	R10	R11



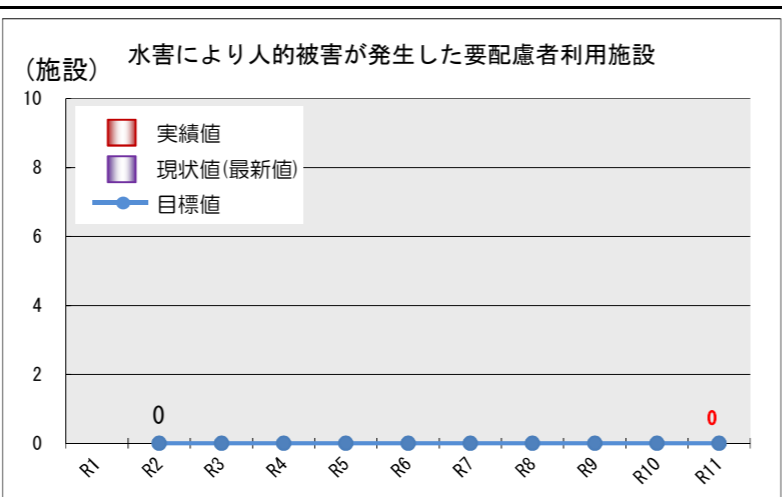
指標 19 水害により人的被害が発生した要配慮者利用施設数

●現在の状況及び課題
要配慮者利用施設の避難確保計画の策定を支援することで、適切な避難を行ってもらうよう取り組んでおり、R2年度は水害による人的被害の発生はなかった。（現状値：0施設/目標値：0施設）

●今後の取り組み予定
引き続き、要配慮者利用施設における避難確保計画の策定及び避難訓練の支援に取り組む。

●指標における実績値の推移 [単位：施設]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	0				
	R7	R8	R9	R10	R11



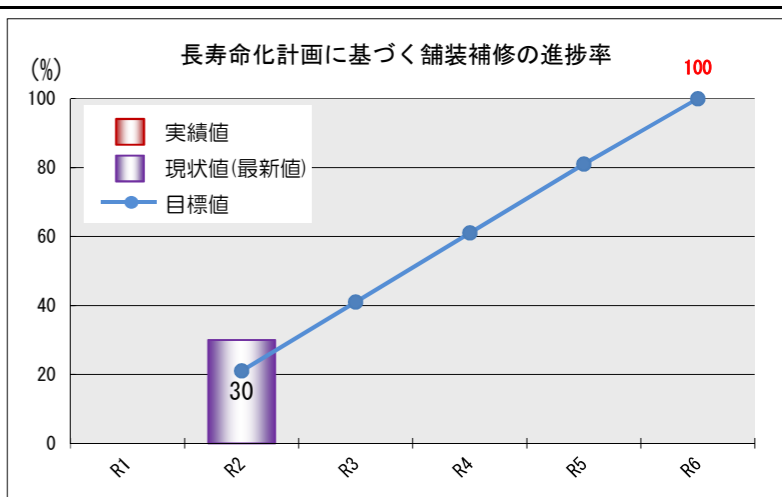
指標 23 長寿命化計画に基づく舗装補修の進捗率

●現在の状況及び課題
「群馬県道路施設長寿命化計画」に基づき、計画的な舗装補修を実施しており、令和2年度はL約57kmで修繕が完了し、指標の進捗は順調に推移している。（現状値：30%/目標値：21%）

●今後の取り組み予定
令和3年度は路面性状調査（東毛方面）と舗装修繕L約38kmを実施する予定であり、引き続き安全で快適な道路環境の整備を進めていく。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	30				
	R7	R8	R9	R10	R11



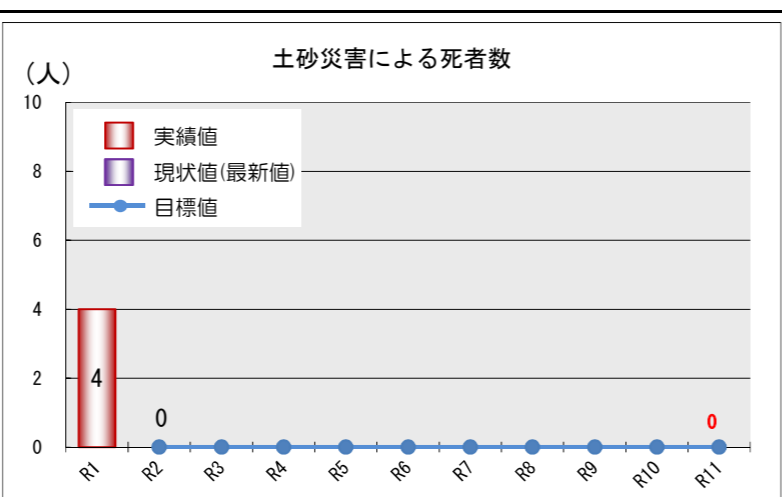
指標 20 土砂災害による死者数

●現在の状況及び課題
土砂災害対策R推進計画に基づく砂防施設の整備や要配慮者利用施設の避難確保計画の策定支援などに取り組んでおり、R2年度の土砂災害による死者はなかった。（現状値：0人/目標値：0人）

●今後の取り組み予定
引き続き、砂防施設の整備や要配慮者利用者施設の避難確保計画の策定支援などに取り組むことで、住民の確実な避難につなげていく。

●指標における実績値の推移 [単位：人]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
4	0				
	R7	R8	R9	R10	R11



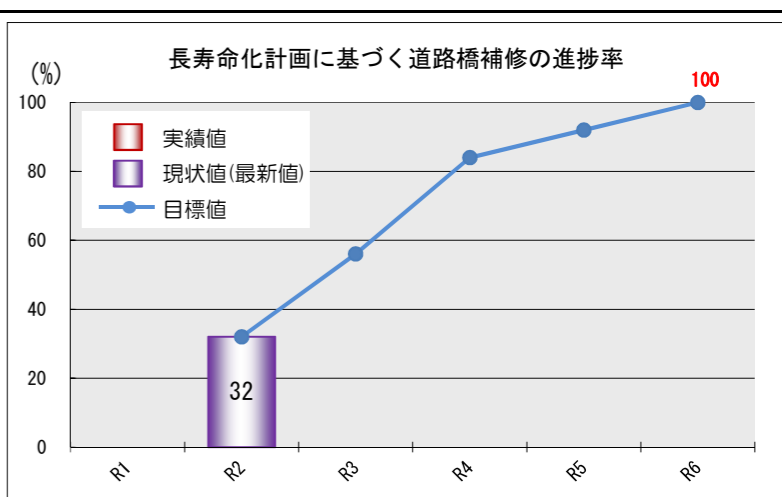
指標 24 長寿命化計画に基づく道路橋補修の進捗率

●現在の状況及び課題
「群馬県橋梁長寿命化計画」に基づき、計画的な点検・補修を実施している。令和2年度は、計画とおり80橋の補修を完了し、指標の進捗は順調に推移している。（現状値：32%/目標値：32%）

●今後の取り組み予定
令和3年度は、60橋で補修を実施する予定であり、引き続き、計画的な維持管理・更新を進める

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	32				
	R7	R8	R9	R10	R11



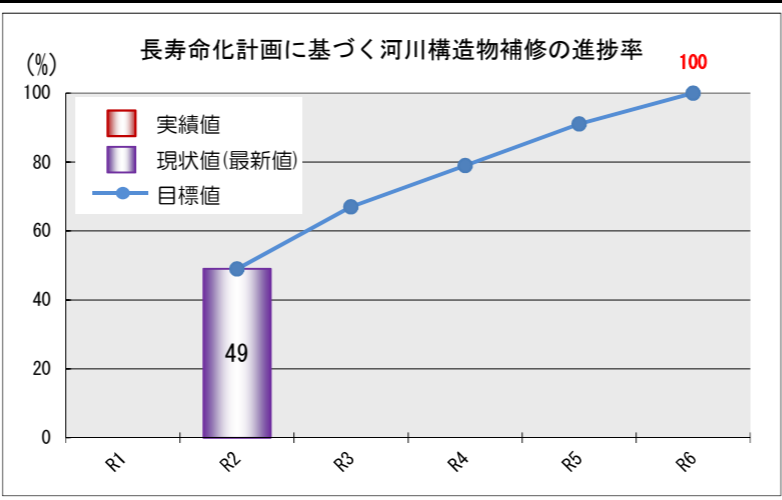
指標 25 長寿命化計画に基づく河川構造物補修の進捗率

●現在の状況及び課題
令和2年度に策定した「群馬県河川構造物長寿命化計画」に基づき、計画的な点検・維持管理・更新を実施している。
令和2年度は、21箇所(10施設)の補修や更新が完了し、指標の進捗は順調に推移している。
(現状値：49%/目標値：49%)

●今後の取り組み予定
令和3年度は、8箇所(6施設)の補修や更新を実施する予定であり、引き続き、計画的な補修や更新を実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	49				
	R7	R8	R9	R10	R11



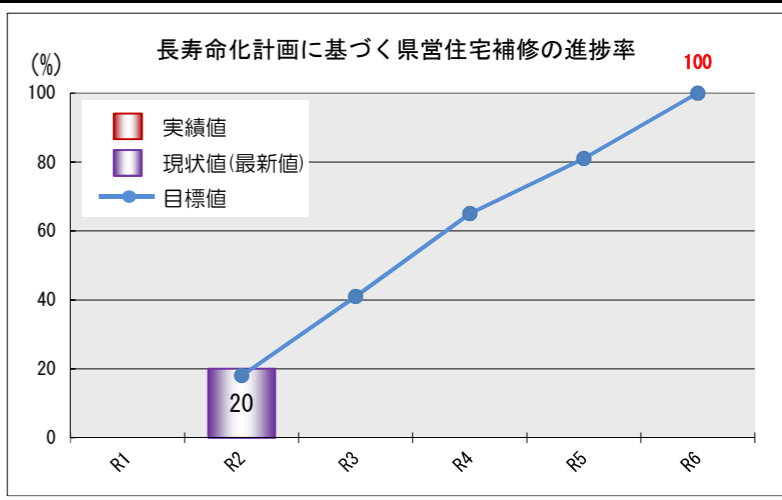
指標 29 長寿命化計画に基づく県営住宅補修の進捗率

●現在の状況及び課題
平成29年度に策定した「群馬県営住宅長寿命化計画(2018)」に基づき、令和2年度は、広瀬県営住宅など312戸の改善工事を完了させたことから、進捗率は順調に推移している。(現状値：20%/目標値18%)

●今後の取り組み予定
令和3年度は、昨年度未完了の工事を完成させる予定であり、引き続き、「群馬県営住宅長寿命化計画(2018)」に基づき計画的な住戸改善や外壁防水改修工事を実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	20				
	R7	R8	R9	R10	R11



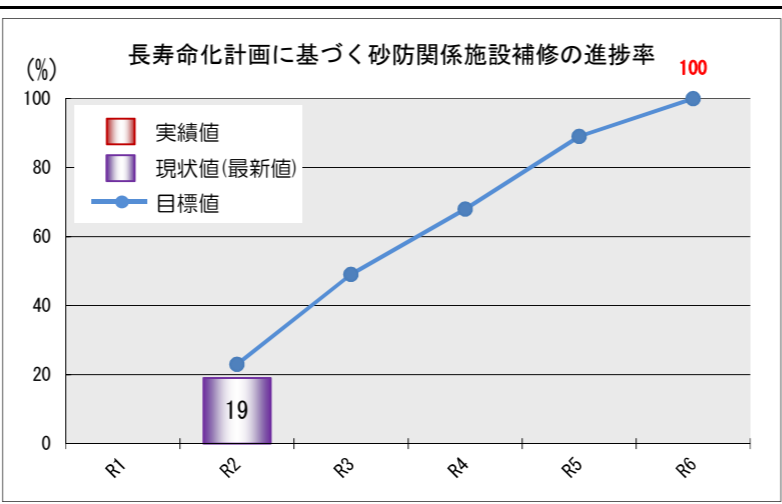
指標 26 長寿命化計画に基づく砂防関係施設補修の進捗率

●現在の状況及び課題
「群馬県砂防関係施設長寿命化計画」に基づき、R2年度は34箇所対策工事を行う予定であったが、一部地域では災害復旧工事の影響等により、5箇所対策工事が出来なかったため、進捗が遅れが生じている。
(現状値：19%/目標値：23%)

●今後の取り組み予定
令和3年度は、対策工事が遅延している5箇所を含めた44箇所対策工事を実施する予定であり、引き続き、計画的な対策を実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	19				
	R7	R8	R9	R10	R11



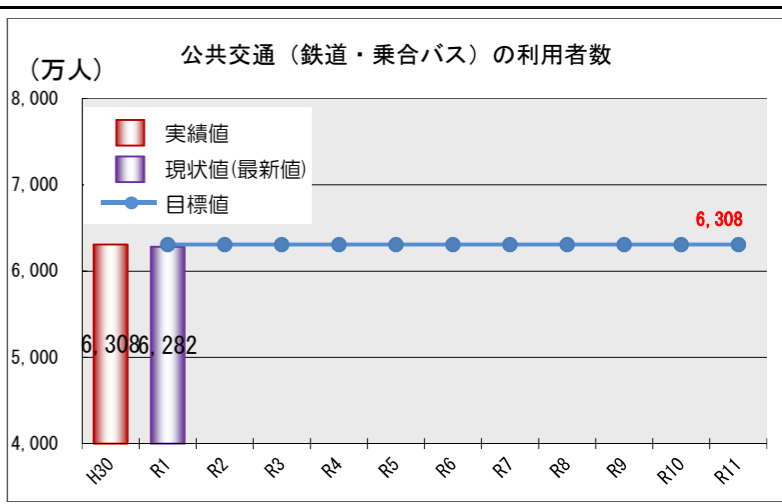
指標 30 公共交通(鉄道・乗合バス)の利用者数

●現在の状況及び課題
令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による年度末の一斉休校等により利用者数が減少している。令和2年度はさらに大幅な減少が予想される。
(現状値：6,282万人/目標値：6,308万人)

●今後の取り組み予定
「誰もが安全で快適に移動できる社会」の実現に向けて、多様な移動手段を確保するため、地域的な暮らしの足の確保、基幹公共交通軸の確保・維持を図るとともに、交通系ICカードの導入支援など、公共交通の利便性向上に取り組む。

●指標における実績値の推移 [単位：万人]

H30(初期値)	R1	R2	R3	R4	R5
6,308	6,282				
	R6	R7	R8	R9	R10
					R11



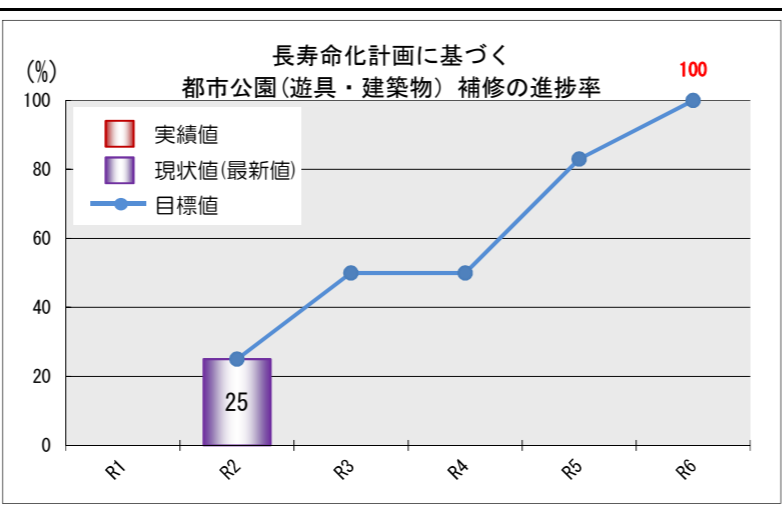
指標 27 長寿命化計画に基づく都市公園(遊具・建築物)補修の進捗率

●現在の状況及び課題
「都市公園長寿命化計画」に基づき、5つの県立都市公園における遊具や建築物といった施設の計画的な維持補修を実施している。令和2年度は、金山総合公園の「ふれあい工房」など、3施設の補修や更新を行い、指標の進捗は順調に推移している。(現状値：25%/目標値：25%)

●今後の取り組み予定
令和3年度は、3施設で補修や更新を進める予定であり、引き続き、公園施設を長期にわたって安全に使用し続けるために、計画的な点検・維持管理・更新を実施する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	25				
	R7	R8	R9	R10	R11



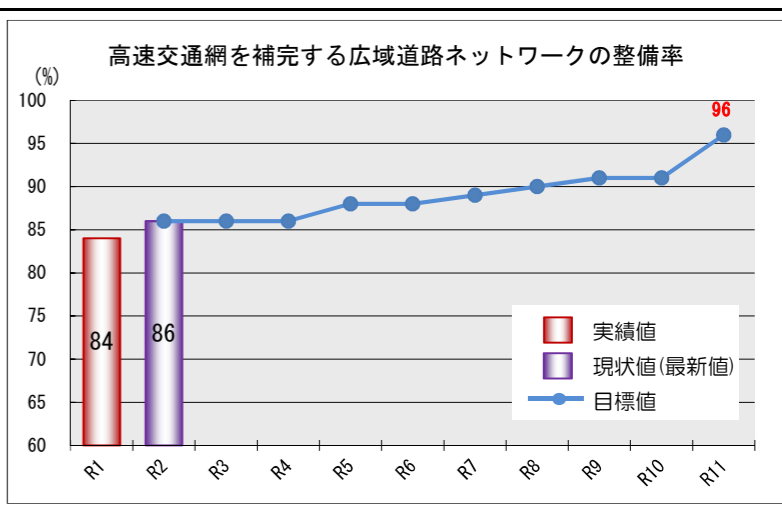
指標 31 高速交通網を補完する広域道路ネットワークの整備率

●現在の状況及び課題
令和2年度は、上信自動車道(金井バイパス、川島バイパス、祖母島箱島バイパス)7.2kmや西毛広域幹線道路(安中工区)1.9kmが開通したため、指標の進捗は順調に推移している。
(現状値：86%/目標値：86%)

●今後の取り組み予定
今後も県土整備プランに基づき、計画的に広域道路ネットワークやネットワークを補完する道路の整備を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
84	86				
	R7	R8	R9	R10	R11



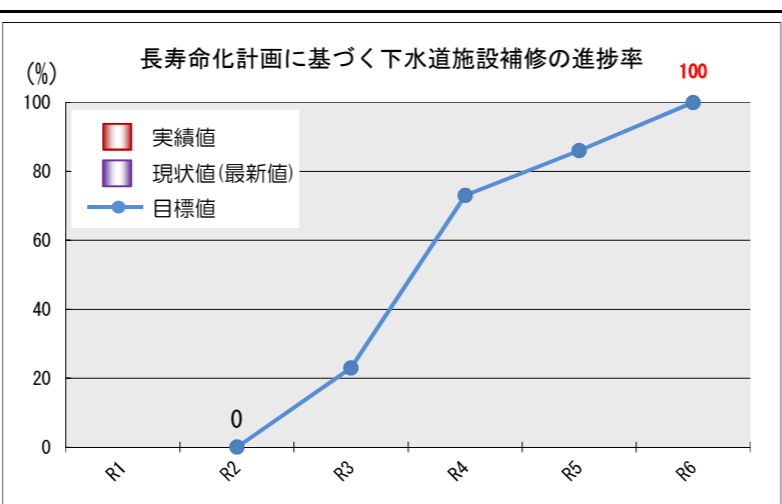
指標 28 長寿命化計画に基づく下水道施設補修の進捗率

●現在の状況及び課題
平成30年度に策定した「下水道長寿命化計画」に基づき、計画的な点検・維持管理・更新を実施している。令和2年度は5施設で対策工事に着手しているが、期間を要するため、令和3年度に対策工事が完了する予定となっており、計画どおり進捗している。
(現状値：0%/目標値：0%)

●今後の取り組み予定
令和3年度は、対策工事に着手している5施設の対策工事を完了させる予定であり、引き続き、持続的な汚水処理機能の確保のため、計画的な施設点検と施設更新を行う。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	0				
	R7	R8	R9	R10	R11



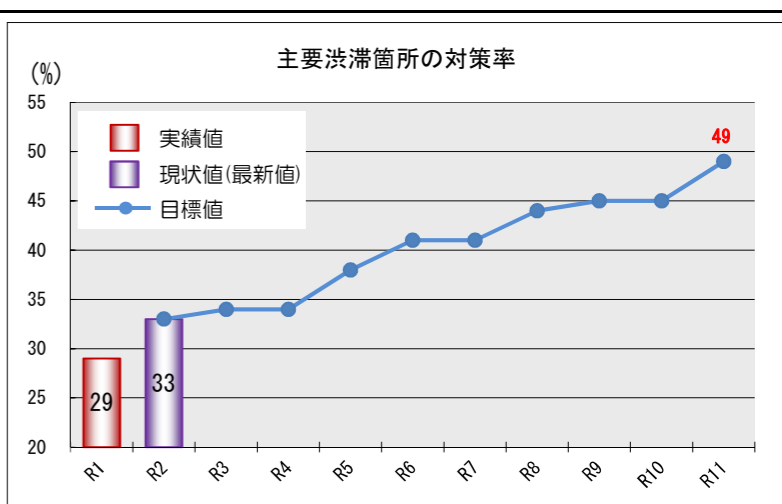
指標 32 主要渋滞箇所の対策率

●現在の状況及び課題
令和2年度は、西毛広域幹線道路(安中工区)や高崎渋川線(2期工区)バイパス4車線化等の開通により、計11箇所の対策が完了したため、指標の進捗は順調に推移している。(現状値：33%/目標値：33%)

●今後の取り組み予定
今後も渋滞要因を分析した上で、効果的な渋滞対策を推進し、交通の円滑化を図る。

●指標における実績値の推移 [単位：%]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
29	33				
	R7	R8	R9	R10	R11



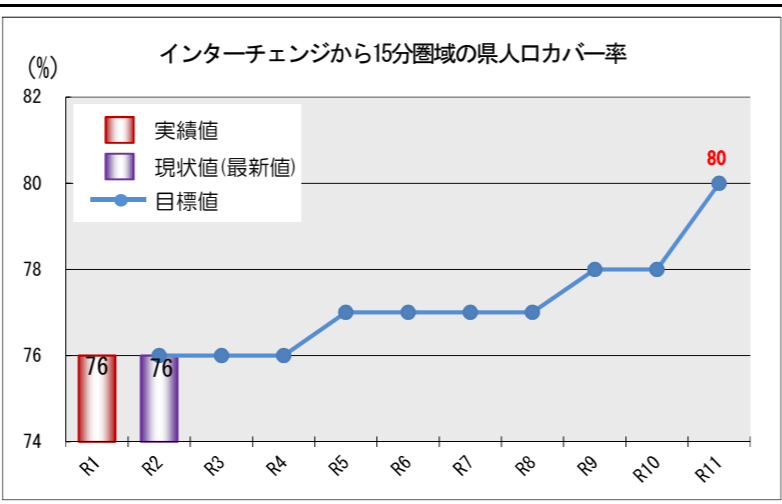
指標 33 インターチェンジから15分圏域の県人口カバー率

●現在の状況及び課題
上信自動車道や西毛広域幹線道路等の高速交通網を補完する路線の整備を推進しており、指標の進捗は順調に推移している。
(現状値:76%/目標値:76%)

●今後の取り組み予定
今後も県土整備プランに基づき、計画的に広域道路ネットワークやネットワークを補完する道路の整備を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
76	76				
	R7	R8	R9	R10	R11



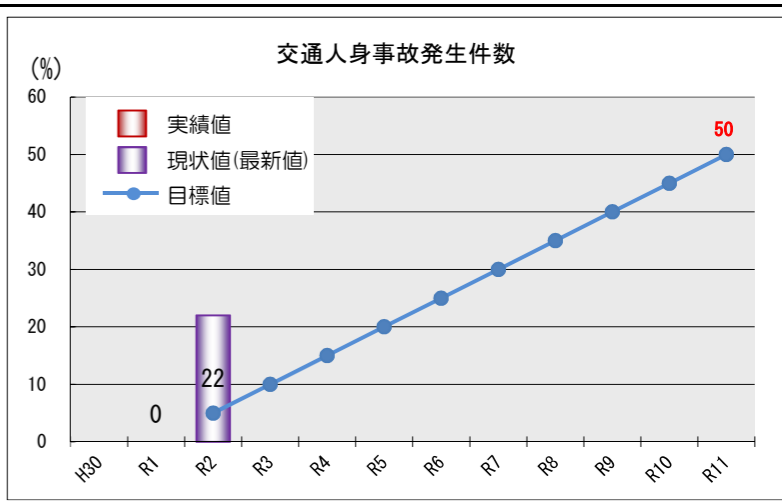
指標 37 交通人身事故発生件数(令和元年の件数に対する減少率)

●現在の状況及び課題
歩道・自転車道の整備や四季の交通安全運動など様々な取組を実施した結果、R2年は人身事故件数9,266件となり、大幅に減少させることができたが、群馬県は、中高生の通学中の自転車事故が多く発生していることが課題である。
(現状値22%減/目標値:5%減)

●今後の取り組み予定
中高生の通学中の自転車事故が多いことから、通学路の矢羽根型路面表示の整備を推進し事故減少を図るとともに、改正交通安全条例の規定に基づき自転車保険の義務化とヘルメットの着用を推進し、自転車事故の重傷化防止を図る。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
0	22				
	R7	R8	R9	R10	R11



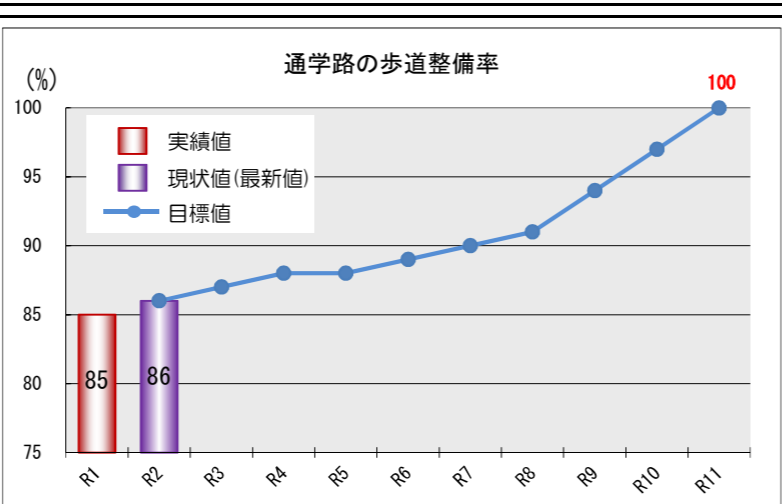
指標 34 通学路の歩道整備率

●現在の状況及び課題
児童の通学時の安全を確保するため法指定通学路の整備を優先し、令和2年度は、国道406号下室田工区などで歩道整備を推進した。法指定通学路702.5kmのうち601.6kmが完了し、指標の進捗は順調に推移している。
(現状値:86%/目標値:86%)

●今後の取り組み予定
児童や生徒が安全に通学できるよう、県土整備プランに基づき計画的に歩道整備を推進する。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
85	86				
	R7	R8	R9	R10	R11



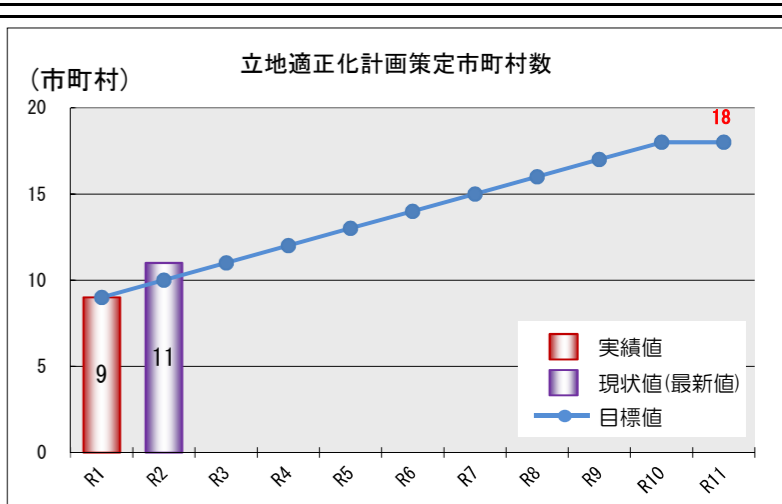
指標 38 立地適正化計画策定市町村数

●現在の状況及び課題
計画策定に着手した13市町のうち、令和2年度末までに、前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、館林市、富岡市、明和町、邑楽町、藤岡市、吉岡町の11市町が策定し公表した。指標の進捗は順調に推移している。
(現状値:11市町/目標値:10市町)

●今後の取り組み予定
令和3年度は、策定中の渋川市が公表を予定しており、県としては、今後も市町村の立地適正化策定委員会に参加し、助言等を行い、市町村の計画策定の支援を行う。

●指標における実績値の推移 [単位: 市町村]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
9	11				
	R7	R8	R9	R10	R11



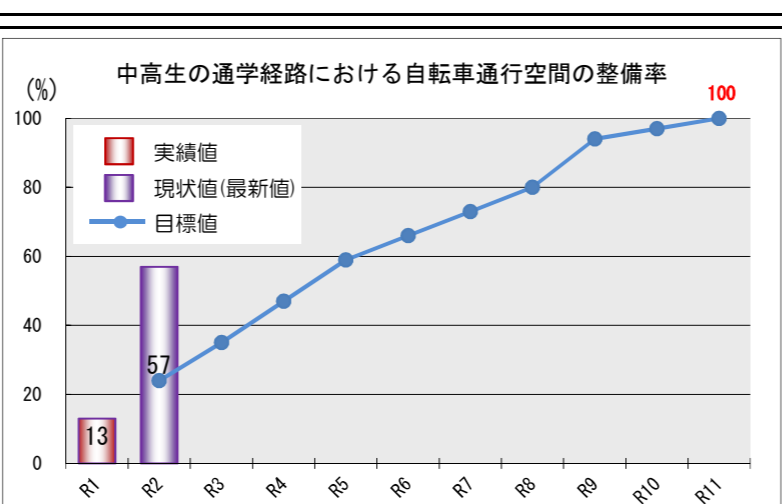
指標 35 中高生の通学経路における自転車通行空間の整備率

●現在の状況及び課題
中高生の自転車事故発生率が高いことから中高生の通学する自転車通行空間を優先し、令和2年度は、県道前橋長瀬線などで自転車通行空間を推進した。自転車通行空間整備170kmのうち97.3kmの整備が完了し、指標の進捗は計画より進んでいる。(現状値:57%/目標値:24%)

●今後の取り組み予定
引き続き、中高生の通学する自転車通行空間の整備を優先に県土整備プランに基づき推進する。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
13	57				
	R7	R8	R9	R10	R11



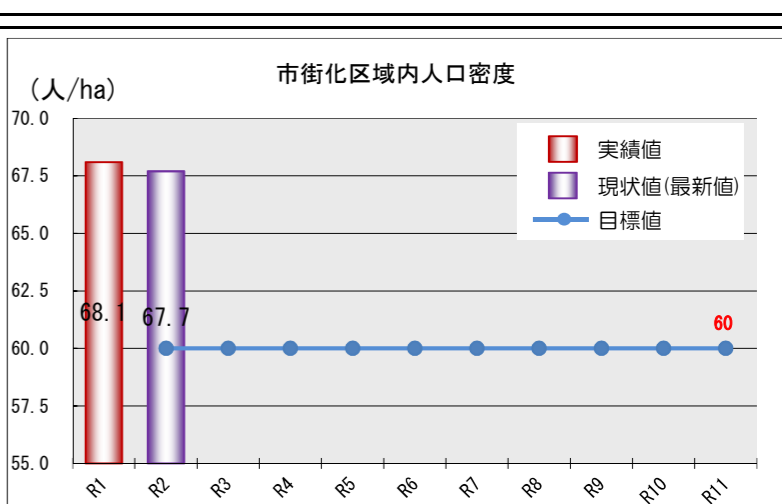
指標 39 市街化区域内人口密度

●現在の状況及び課題
県内各都市の中心市街地において、一般的に人口減少が進行している傾向にあるため、平成30年度に対して令和2年度は人口密度が微減となっているが、ほぼ横ばいを維持している。
(現状値:67.7人/ha/目標値:60人/ha以上の維持)

●今後の取り組み予定
今後も、県と市町村で協力して、立地適正化計画の居住誘導区域の設定や市街化調整区域の地区計画など郊外の土地利用規制を組み合わせ、「まちのまとまりづくり」を進める。

●指標における実績値の推移 [単位: 人/ha]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
68.1	67.7				
	R7	R8	R9	R10	R11



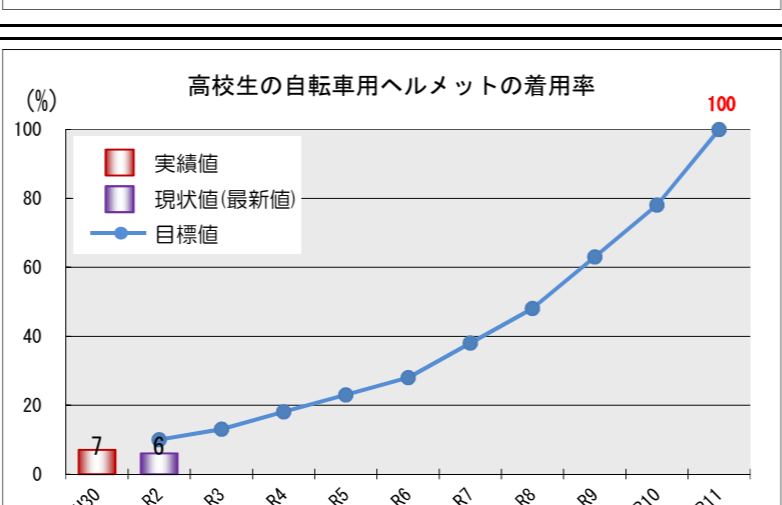
指標 36 高校生の自転車用ヘルメットの着用率

●現在の状況及び課題
中高生の自転車事故発生率が高いことから事故発生時の重傷化を防止するため、ヘルメット着用促進を図っている。無記名でのアンケートを実施した結果、高校生約3500人の回答があり、「着用している」と回答したのは約6%であり、更なる着用率の向上が必要である。
(現状値:6%/目標値:10%)

●今後の取り組み予定
各高校に、県庁職員で構成した自転車活用推進啓発チーム「GME T」を派遣し、県警、市町村と連携した着用啓発を行い、着用率向上に努める。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

H30(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
7	6				
	R7	R8	R9	R10	R11



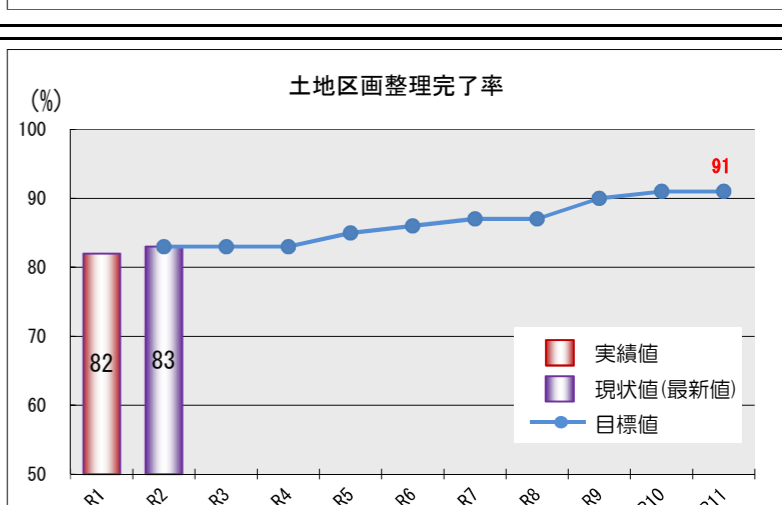
指標 40 土地区画整理完了率

●現在の状況及び課題
土地区画整理事業の事業主体である市町村や組合に対する指導や助言、整備費用に対する財政的支援を行い、令和2年度は1地区で事業が完了したことから、指標の進捗は順調に推移している。(現状値:83%/目標値:83%)

●今後の取り組み予定
引き続き、事業主体である市町村や組合に対する支援を行う。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
82	83				
	R7	R8	R9	R10	R11



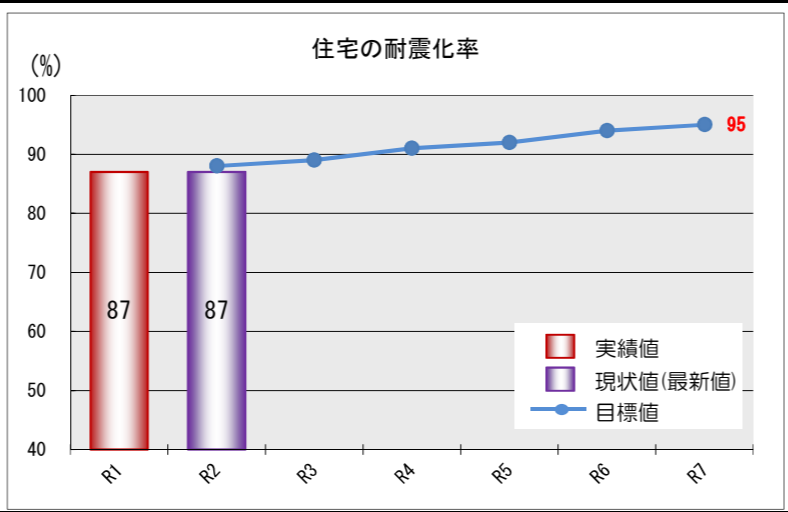
指標 41 住宅の耐震化率

●現在の状況及び課題
住宅の耐震化の促進に向け、市町村への支援を継続してきた結果、市町村の耐震改修補助件数は増加している。(R1:22件 → R2:26件)しかし、指標の進捗に遅れが生じており、耐震化を一層促進する取組が必要である。
(現状値:87%/目標値:88%)

●今後の取り組み予定
木造住宅を所有する高齢者など、ターゲットを定め、ターゲットに合わせた普及啓発を行っていく。また、本県では低コストの耐震改修が普及していないため、建築士、施工者を対象にした低コスト耐震改修講習会を開催する等、耐震改修のプレイヤーを育成する。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
87	87				
	R7	R8	R9	R10	R11



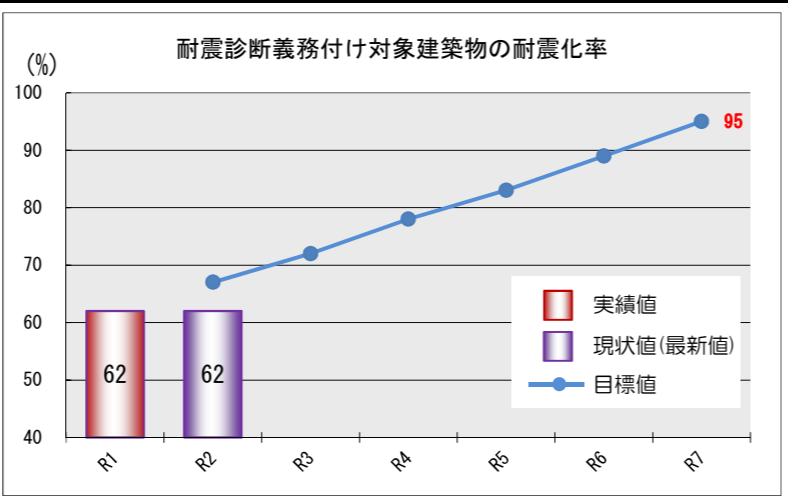
指標 42 耐震診断義務付け対象建築物の耐震化率

●現在の状況及び課題
大規模な旅館・ホテル等の耐震診断義務付け対象建築物の耐震化を促進するため、市町村と協調して耐震改修に対する補助を行ってきたが、新型コロナウイルスの影響等により、耐震改修が進まず、指標の進捗に遅れが生じている。
(現状値:62%/目標値:67%)

●今後の取り組み予定
建築物の所有者への個別訪問やダイレクトメール等による情報提供など、直接的な普及啓発を行う。情報提供は、施設を利用しながらの耐震改修の事例、費用の目安、融資制度等、所有者の負担軽減や意欲向上につながる情報を提供する。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
62	62				
	R7	R8	R9	R10	R11



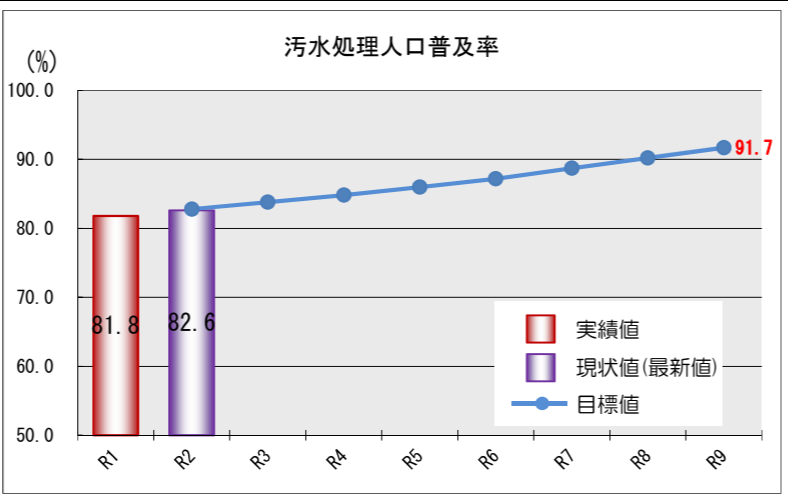
指標 43 汚水処理人口普及率

●現在の状況及び課題
群馬県の汚水処理人口普及率は、令和2年度末時点で、82.6%であり、全国平均の92.1%に比べ10ポイント程度低いことから、引き続き、汚水処理施設の整備を推進する必要がある。

●今後の取り組み予定
「群馬県汚水処理計画」に基づき、県と市町村が連携し、下水道等集合処理と合併処理浄化槽のベストミックスを推進することにより効率的・効果的な普及率向上施策を推進していく。また、広域化・共同化による汚水処理施設の統廃合を進め、これにより生まれる維持管理コストの縮減費用を活用し、施設整備を促進する。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
81.8	82.6				
	R7	R8	R9	R10	R11



指標 44 公共用水域環境基準値達成率(河川: BOD※75%値)

●現在の状況及び課題
群馬県の公共用水域環境基準達成率は、令和元年度末時点で、85.0%と全国平均の94.1%に比べ9ポイント程度低い。家庭からの汚水が直接川や湖に流れ込んでいることが水質悪化の大きな原因の1つと考えられる。

●今後の取り組み予定
川などへの汚水の流れ込みに起因する水質悪化を防ぐため、県と市町村が連携し汚水処理施設を整備するなど汚水処理人口普及率を向上させることで、公共用水域の水質改善を図っていく。

●指標における実績値の推移 [単位: %]

R1(初期値)	R2	R3	R4	R5	R6
85	-				
	R7	R8	R9	R10	R11

